

## 8. 弥彦菊まつり・菊づくり後継者育成支援等

菊づくりの優れた栽培技術を次世代へ  
「弥彦菊まつり」を後世に残したい

毎年11月1日から11月24日まで新潟県弥彦村の越後一宮「彌彦神社」境内で開催される新潟県菊花展覧会（弥彦菊まつり）は、その出品数、品目数において全国でも有数の規模を誇る菊花展覧会です。



この展覧会は、一本の幹から伸びる千輪近くもの菊花を円形状に仕立てた大菊の数咲きをはじめ、中菊の古典菊や小菊懸崖、盆栽など趣向を凝らした華やかな菊花が境内を彩ります。なかでも、毎年テーマを変えて作られる三万本の挿芽小菊による「大風景花壇」は圧巻で見ると人を魅了します。



しかし、時代とともに展覧会の出品数は減りつづけ、また、出品される新潟県菊花連盟の会員の方々の高齢化と優れた栽培技術を継承していく後継者不足の深刻化が課題となっています。

そこで、弥彦村は、ふるさと納税応援メニューとして、「弥彦菊まつり・菊づくり後継者育成支援等」を新設し、皆さまからいただいた貴重なお気持ち（寄付金）を「菊づくり後継者育成」や「弥彦小学生の菊栽培指導」等の事業に活用して多くの菊愛好家を増やし、弥彦の秋の風物詩として全国的に有名な「弥彦菊まつり」を末永く守っていくために、あたたかいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



### ○弥彦菊まつりの紹介

毎年11月1日から11月24日まで、越後一宮 彌彦神社境内で開催される「新潟県菊花展覧会」は、新潟県、新潟県菊花連盟の共催で、質、出品数、出品品目において全国随一の規模を誇る菊花展覧会で、農林水産大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣の各大臣賞など、厳正な審査で決定された見事な菊が展示されています。

例年、愛好者から続々と出品され、大菊、中菊、古典菊、小菊懸崖など、その点数も約4千鉢にのぼり、今や「弥彦菊まつり」と呼ばれるとともにすっかり秋の風物詩として全国に知られ、大勢の参拝観菊者で賑わいを見せています。



なお、境内では一本の幹から伸びた千輪もの菊花を円形に仕立てた大菊の数咲きや、約3万本の畳60畳敷き分を菊の挿し芽で全国の景勝地を造園する「大風景花壇」は、人気を集め、好評を得ています。

### ○過去の大風景花壇

年	回	景勝地名	年	回	景勝地名
2017年	第57回	赤城山	2016年	第56回	京都嵐山
2015年	第55回	弥彦山	2014年	第54回	富士山
2013年	第53回	伊勢神宮	2012年	第52回	天の岩戸



## ○弥彦菊まつりの歴史

弥彦菊まつりは新潟県菊花展覧会のことであり、永年続けられてきた奉納切花大会が発展して、昭和36年（1961）、野上宮司を会長に、「弥彦神社奉納菊花会」と改められました。

第1回新潟県菊花展覧会が11月1日から11月24日まで開催され、県内はもとより東京方面からも切花のほか、約2,600点が出展されました。そして、昭和37年には更に発展して「新潟県菊花連盟」と組織が改められ、現在は、県下43支部、会員約1,000名を有する組織になっています。この展覧会は、新潟県、新潟県菊花連盟の共催で開催され、4,000鉢の菊花が出品される日



本でも有数の展覧会に成長し、農林水産大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣の各大臣賞や、神社本庁統理賞、県知事賞をはじめ、大菊、中菊、小菊各部門の特別賞などが厳正な審査で決定されます。

新潟県菊花連盟では、発足当時、審査長に盆栽菊づくりの最高権威者として名高い趣味の菊日本国香会の中島為次会長に委嘱。その指導のもと、小菊部門の盆栽菊は芸術性、質、量ともに全国的にも最高のレベルに達しました。また、中菊部門では「弥彦作り」という3種混合植え込みの独特のものを編み出し、大菊部門では「福助作り」にも力を入れるなど、それぞれに年々創意工夫を加え、内容も充実して全国有数の規模になりました。

## ○弥彦村の菊づくりプロジェクト事業

全国有数の「弥彦菊まつり」にふさわしい、美しい菊の育て方の技術を後世に伝えていくため、下記事業を実施しています。

### — 菊づくり教室を開催 —

伝統ある「弥彦菊まつり」を秋の風物詩として、未永く守り続けていくため、平成29年度から初心者の方でも栽培できる「菊づくり教室」を開催し、「弥彦菊まつり」に出品



することを目標に、菊づくりの栽培技術の継承と後継者を育成しています。

— 弥彦小学生への菊づくり指導 —

弥彦村の子どもたちに、「弥彦菊まつりの村」にふさわしい、優れて華やかな菊を育てるという意識を醸成するには、小さい頃からの教育が必要です。弥彦村の菊づくりの会である「清香会」の方々の指導のもと、弥彦小学校4年生を対象に大菊3本仕立ての栽培を指導しています。

— 菊づくり愛好家の先生に直接指導 —

新潟市在住の菊づくり愛好家の先生宅に伺い、生徒を数名派遣して栽培技術の高い小菊懸崖などの栽培方法について、直接指導を受けています。

— 弥彦菊まつりに展示する菊を栽培 —

弥彦村の弥彦地区にある菊ハウスで、「弥彦菊まつり」に展示する菊づくりを行うとともに、講師と弥彦村の菊づくりの会である「清香会」の方々の指導のもと、ボランティア参加者の方々にも菊づくり指導を行っています。

— 首都圏に菊を展示 —

「弥彦菊まつり」を広くPRするとともに、首都圏の大宮駅やお茶の水のホテル内、新潟駅や燕三条駅内に小菊懸崖や福助、杉づくりなどの菊を展示して栽培技術の高さを披露しています。